

平成28年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	長野県蘇南高等学校	課程	(全)・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通
-----	-----------	----	-----------------

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成 28 年 10 月 18 日 (火)						
実施年月日(曜)	平成 28 年 6 月 23 日 (木)						
授業時間(時限)	13 時 50 分～ 14 時 40 分 (5 時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	2 学年ものづくり系列 工業 (電気基礎)						
授業者名	藤城 亘陽						
形 態	初任研・10年研・教育課程研究委員会・ 小中高算数・数学研究会・その他 () (○をつける)						
授業公開対象者	校内外問わず参加を希望する方						
授業参観者数	校内	校外			その他	合計	
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒		
	15 人	人	1 人	人	人		
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	・各種関係機関に初任研・研究授業の依頼状を送付した。 ・校内に案内を掲示した。 ・校内が複雑なため誘導役を配置した。						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	14 時 50 分 ～ 15 時 50 分 参加者 校内職員4名、授業者、教頭、校長、木曾青峰高校校長 の8名 ・授業の目的がはじめに示されておりユニバーサル授業を感じた。 ・4観点別の評価方法がしっかり示されていた。 ・OHC(書画カメラ)を利用し、情報機器を使用してわかりやすい説明であった。 ・キルヒホッフの法則を理解できるように丁寧な解説であった。 ・生徒との信頼関係がよくわかった。						
成果と課題	工業科でどのような内容を学習しているか、また生徒の取り組み状況をほかの教科の先生方に知ってもらったことは成果である。 近隣の高校が離れているなどの地域的要因で外部からの見学者が少なかったことが課題である。近隣の岐阜県にも声をかけていきたいと考える。						

(注)「校外へ公開する研究授業」実施後、その都度直ちに、内容を各校ホームページに掲載するとともに、それと同様のものを電子メールの添付ファイルで送付してください。様式については、これ以外の項目を付け加えるなど、各校で工夫していただいて結構です。